

第2回ジャパンメディカルリーグ選抜軟式野球大会

11/25(土)の1回戦は、浜松市にある天竜球場にて京都第二赤十字病院と対戦しました。

初回、先頭の宮本が3塁打を放ちチャンスを作るも生かすことが出来ず先制点とはなりませんでした。2回、先頭渡辺塁の2塁打と西川の犠打によりチャンスを作ると8番の遠目塚の内野ゴロの間に先制点を取りました。投げては先発の延近がランナーを出すも粘りの投球で追加点による援護を待ちました。しかし5回1死からエラーが連続で続き同点となりました。勝ち越したい小泉病院ですがチャンスを作るも点が取れない中、最終回に2死からヒットとエラーにてサヨナラのチャンスを作り島袋がライト前ヒット放つもライトの好返球によりサヨナラとはなりませんでした。

大会規程上、8回から1死1・3塁のタイブレークとなりました。まず守る小泉病院ですが先頭打者の初球にエンドランを決められるもその後はしっかり抑え1点に凌ぎました。その裏相手のパスボールにより同点になるが後続が続けずサヨナラとはなりませんでした。9回も同じくタイブレークとなり、引き続き延近がマウンドへ行きました。先頭打者にサードへの内野安打で満塁のピンチを迎えるも次の打者をショートライナーのゲッツーにより無失点で抑えました。サヨナラのチャンスを迎え代打に橋本(幸)を出すも申告敬遠で1死満塁となりましたが、次の打者がショートゴロ、ファーストフライに終わりこちらも無失点で終わりました。

こちらも大会規程上タイブレーク2回で終わらない場合は抽選(じゃんけん)での決着となりました。結果は1-2により敗戦しました。

11/25(土) 1回戦

対 京都第二赤十字病院 2-2● (7回制、8回から1死1・3塁タイブレーク)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計	H	E
京都第二赤十字	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2	6	3
小泉病院	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	8	3

バッテリー：延近 - 西川

2塁打：渡辺塁(2回)

3塁打：宮本(1回)

抽選

小泉 ○××

京都 ×○○